

道央支店より新年ご挨拶

北海道統括支店 道央支店長 小西 均

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

弊社の種苗法違反、品種偽装、隠蔽に関する不祥事により、昨年来、皆様にご心配とご迷惑をお掛けしていることにつきまして、深くお詫び申し上げます。お客様の信頼のみならず社会信用を損なう極めて重大な事態であると認識し、役職員一同猛省し再発防止策に取り組み、信頼回復に努めてまいり所存でございます。

弊社はこのことを受けて牧草・飼料作物は種苗法に則った表示を徹底してまいります。そのため適切な社内規定やマニュアルの作成・整備を図っており、これまでの名称から変わる品種がございますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨夏の道内は梅雨入りでもしたかのような憂鬱な天候状態が長引き、一番牧草の品質劣化や畑作物の生育停滞、9月には猛烈な台風21号の直撃と翌未明発生 of 北海道胆振東部地震の発生、農畜産業は甚大な

被害が発生し、まさに試練の一年間でもございました。これらの自然災害により多くの尊い命が失われました。被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。

本年は元号が変わる節目の年であります。「亥」は植物の成長としては、種に生命を引き継いだ状態で、亥年は翌年から始まる次の種の成長に備えて、春の芽吹きまでじっと固い種の中でエネルギーを内にこめているイメージ、亥に木偏を補うと「核」となり、内側の芯を意味するそうです。

弊社と致しましても社是であります『技術と誠意で農業奉公』をもとに、国内の農畜産業の基盤作りとして「土づくり、草づくり、牛づくり」を念頭に、各営業所員一同、皆様のご用命をお待ち申し上げております。

良き想いを紡ぐ一年間、皆様のお農作業の無事とご健勝をお祈り申し上げます。

道東支店より新年ご挨拶

北海道統括支店長 兼 道東支店長 五十嵐 誠

新年あけましておめでとうございます。

また、日頃より格別なるご高配とご愛顧を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年は弊社の種苗法違反並びに品種偽装、隠蔽の不祥事により、お客様、関係者の皆様方に多大なご迷惑及びご心配をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。このようなことを二度と起こさぬよう役職員一同深く反省し、再発防止を図りお客様、関係者の皆様の信頼を回復出来るよう努めてまいります。

平成30年の生乳生産は1月より前年を若干上回る生産量で推移してきましたが、9月の北海道胆振東部地震による停電の影響で生乳の廃棄や搾乳遅れによる乳房炎により乳量減少で生乳生産量は大幅に下がったものの、その後の回復により全体的には若干の減少となるようです。また、天候不順により不作の牧草・デントコーンの切り替えの影響が今後発生することも懸念されます。改めて自然と共存する事の難しさを痛感する反面、いかに自然と共に過ごすことが大事であるかを感じたところでもあります。

弊社の創業者でもある黒澤西蔵翁が提唱した「健土健民」は酪農とは循環型の生産システムで、健康な牛

から出た堆肥が土を豊かに健康にして、良い牧草を育てる（健土）。良い牧草を食べた乳牛は良い「乳」を出し農民をうるおし、これを飲んだ人々は健康になる（健民）。この循環が酪農である。まさにこの精神を実現していくことが弊社の使命と考えます。

良い牧草が育てられ、健康な牛が飼養出来るよう今後も「技術と誠意で農業奉公」を実践し一日でも早く信頼を回復していく所存であります。

平成31年の酪農・畜産環境はTPP発効、日欧EPAに伴い国際競争に身を投じる事になります。益々大きな波の中で足腰のしっかりした日本の酪農畜産となるよう立ち向かわなければなりません。また、国内では酪農畜産現場での人手不足、後継者不足、素牛の高騰、繁殖雌牛の確保、など課題もたくさんありますが、自給飼料基地としての働きを持った道東の大地を活かして生産者の方々の経営に寄与できる様、これまで培った技術を活かし、お客様に喜んでいただける商品やタイムリーな情報を提案させていただき地域の活性化と酪農畜産の振興に貢献していきたいと思っております。

一年の農作業の無事とご家族皆様のご健勝をお祈り致します。